

平成23年度佐賀県学習状況調査(5年生) 分析結果と今後の対応について

【小城市立芦刈小学校】

国語

○県平均を大きく下回っている。
○漢字を正しく読むことは県平均とほぼ同じで、敬語の使い方や接続詞を正しく使うことは大きく上回っている。
○文章の内容を的確に読んだり、会話文を正しく書いたり、漢字辞典を正しく使うことが不十分である。

★今後の対応

- ①「よみときタイム」で、情報を整理して順序よく自分の考えをまとめて書く活動を取り入れる。また、指示語が表している内容を考えたり、主語をとらえて読み進めたりする練習をさせる。
- ②日々の日記指導を継続し、「作文の書き方」の指導を徹底する。
- ③「辞書引き活動」や「漢字タイム」を使って正しく言葉を使う習慣づけをし、家庭学習で継続して漢字の練習に取り組ませる。また、ローマ字の復習をし、習得を図る。
- ④家庭と連携を取り、読書を家庭でも増やしてもらう。また、毎日の音読練習に協力をしてもらう。

算数

○県平均をやや上回っている。
○4年生で学習した内容の理解や計算力は、県平均を上回っている。特に、面積や重さの単位の関係や四角形の対角線の特徴を答える問題の正答率は県平均をかなり大きく上回る。
○どの内容・領域も県平均を上回る。特に量と測定が県平均を大きく上回るが、伴って変わる2つの量の関係を読み取って未知の数量を求めることや十字の形の面積を工夫して求めることは不十分である。
○全体的に学習したことをそのまま問われる問題の正答率は高いが、表現を変えた問題の正答率は低い。

★今後の対応

- ①今後も個に応じた指導を続け、基礎的な内容の定着を図るとともに、考える授業づくりに取り組んでいく。
- ②多種多様な問題を数多く取り組ませることによって、応用力を身につけさせる。
- ③時間配分を考えて問題を解くことができるように、普段のプリントやテストで経験を積みさせていく。

“ 継続は力なり ” (芦刈小の児童の学力向上に向けて)

毎週火曜と水曜の朝の時間は「10分間の読書+のびのびタイム(10分間の計算)またはよみときタイム(文章を読んで自分の考えを書く活動)」、同じく木曜は「読書+スピーチタイム」、水曜日の午後15分間は「漢字タイム」を、全校一斉に行っています。

社会

○県平均をやや上回っている。
○「安全を守る」の領域が県平均を大きく上回っている。特に警察官や地域の人が安全を守るために取り組んでいることや消火器の働きはよく理解できている。
○佐賀県の地図から小城市を探ることや消防団の働きや地域に尽くした人物とその業績を結びつけることや、資料活用力を問う問題が不十分である。

★今後の対応

- ①自分で調べてまとめさせる活動を取り入れて理解を深めさせる。さらに、確かめの問題を反復して取り組ませることで知識の定着を図る。
- ②問題や資料を丁寧に読み取る活動を増やし、地図で場所の確認をする機会や地名クイズなどの活動を取り入れて地図に関心を持つようにさせていく。

理科

○県平均をやや下回っている。
○「物質とエネルギー」「生命・地球」の領域が、県平均をやや下回っている。季節の変化に伴う動植物の様子を考える学習は県平均とほぼ同じで、観察を通しての理解が十分にできている。また、空気の温度と体積の学習は、よく理解できている。
○しかし、太陽と月の位置関係による月の見え方や閉じこめた空気や水の学習では理解が不十分だった。

★今後の対応

- ①実験・観察の目的意識「何を明らかにする実験・観察なのか」をしっかりもたせる。また、予想をたてさせてから実験・観察の方法を考えさせるなど、見通しをもって学習させる必要がある。
- ②自然観察を伴う学習では、ビデオやインターネットなどの視聴覚教材を活用し、理解を深めさせる。